



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2017年5月6日(土) 9時00分～ 13時00分 (午後雨天のため午前中のみ活動)
場所	金ヶ崎公園
参加者	エコウイング会員／4名、魚住まち協／1名、事務局／1名、 計／6名

● 午前

5月に入って、今日の金ヶ崎公園はあざやかな新緑の若葉に包まれた里山の初夏の風景を楽しむことができました。ゴールデンウィークの連休中でしたが、今日の活動には6名のメンバーが集まりました。午前中は、曇り空でたまに薄日は差すものの、小雨もぱらつくという不安定な天気でした。

朝9時に、いつものように公園の会議室に集合した後、公園内の観察コースを一巡りして市民自然図鑑の昆虫観察をしましたが、曇りがちの天候のためか、観察できた昆虫は多くありませんでした。

観察の最後に、公園入口の竹林で午後の作業の下見をしましたが、竹林内では今年生えてきた大きなタケノコが何本も無残に倒されていました。これまで、立派な竹林を復活させようとして整備に努力をしてきたことが踏みにじられてしまったようで、がっかりです。

● 午後

午前中の活動を終え、会議室に戻って弁当を食べていると雨が降り出したため、午後の活動は中止として午後1時過ぎに帰路に就きました。今日実施しようとした竹林の整備作業は、来月の活動に繰り延べることにします。

- 次回の活動は6月3日(土)の予定です。気温も高くなり、観察できる昆虫も増えると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



昆虫観察の様子(その3)



無残に折られたタケノコ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日、金ヶ崎公園の昆虫観察で確認した撮影した昆虫などを紹介します。曇りがちの天候のためか、確認できた昆虫は種類も数もあまり多くありませんでした。それでも時おり薄日が差すと、ハチやチョウなどのなかまが飛び始めました。テントウムシやカメムシのなかまも姿を見せました。

ヒメハナバチのなかま



ヒゲナガハナバチのなかま



正面から見たヒゲナガハナバチのなかま



キマダラハナバチのなかま



ヤマトシジミ



ナミテントウ(無紋型)



ナナホシテントウ



クサギカメムシ



野鳥では、オオルリ、キビタキ、センダイムシクイなど夏鳥が盛んにさえずっていましたが、この日は写真には撮影できませんでした。野鳥は子育ての季節になり、スズメやヤマガラなどが幼虫を集めている姿を観察できました。そのほかに、ホオジロやキジバトを確認しました。ふもとの北浦池は、補修のため水が抜かれてまだ水量が回復していませんでしたが、アオサギが一羽だけ佇んでいました。

青虫をくわえたスズメ



ヤマガラ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ホオジロ



キジバト



アオサギ



その他の生きものでは、観察中に小さな黒っぽいヘビを何回も観察しました。タカチホヘビという種類の子供のようです。イチヨウの木に取り付けたプラスチックの名札の裏には、ヤモリが隠れていました。雨模様の天気だったためか、アマガエルやカタツムリも姿を見せました。

植物では、芝生の広場に一角にトキワハゼが群生して花を咲かせていました。セイヨウタンポポの花は盛りを過ぎて、綿毛がたくさん並んでいました。ヤマボウシの木は花が散り、小さな緑色の実をつけていました。

タカチホヘビの子供



ヤモリ



アマガエル



カタツムリ



トキワハゼの群落



セイヨウタンポポの綿毛



ヤマボウシの実



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

4月末から5月の初めにかけて、金ヶ崎公園には夏鳥がやってきます。特に、鳴き声も姿も美しいオオルリやキビタキなどの野鳥を観察できるのですが、この活動日の当日はあいにく天気恵まれず、鳴き声は聞こえたものの姿を確認することができませんでした。

そこで、活動日の前に金ヶ崎公園で撮影した野鳥の写真を以下に紹介します。

オオルリ(5月3日)



ヤマガラの子供(4月29日)



キビタキ(4月27日)



アカハラ(4月27日)

